

和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科 博士後期課程

令和 7 年度入学試験

専門科目 問題冊子

注 意 事 項

1. 受験番号と氏名を解答冊子の表紙の指定の場所に記入しなさい。
指定の場所以外に記入してある場合は、全答案を無効とします。
2. 解答は所定の解答欄に横書きで記述しなさい。
3. 問題冊子の最後にある下書き用紙は問題冊子から切り離しても構いません。
4. 提出するのは解答冊子だけです。問題冊子は持ち帰りなさい。

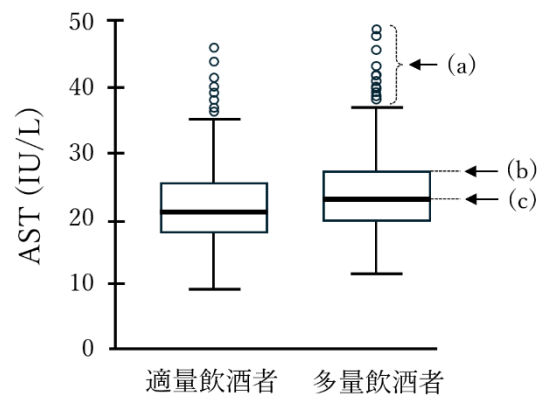
I. 某地域の住民における肝障害の実態を調べるために、標本を無作為抽出して血液検査を行い、肝機能の指標の測定を行った。以下の設問に答えなさい。

設問1 下の表は γ -GTPの基本統計量を示したものである。分布の傾向を端的に表現する代表値と散布度として最も適切なものは何かを答えなさい。また、その理由を説明しなさい。

	平均値	中央値	最頻値	標準偏差	標準誤差	四分位範囲	歪度
γ -GTP (IU/L)	30.9	22.0	15	31.7	1.0	16-34	6.3

設問2 右の図はASTについての箱ひげ図である。(1)、(2)に答えなさい。

- (1) 図中(a)～(c)が何を示すかを答えなさい。また、図からASTの分布について分かることを説明しなさい。
- (2) 適量飲酒者と多量飲酒者でASTを比較する場合に用いる検定方法として最も適切なのはどれか。下の語群から1つ選び、その理由を説明しなさい。

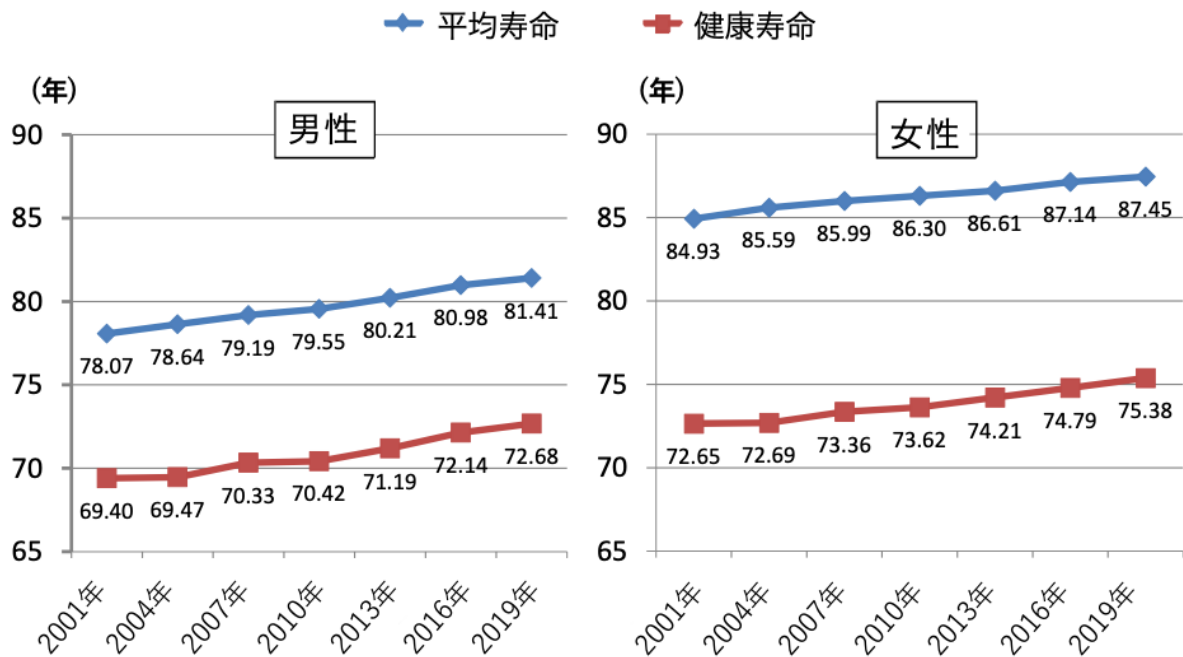


〔語群〕 χ^2 検定、ウェルチ検定、マンホイットニーのU検定、スチューデントのt検定、マクネマー検定、ウイルクソンの符号付き順位検定、クラスカル・ウォリス検定

設問3 下の表は適量飲酒者と多量飲酒者を前向きに追跡して、肝障害の罹患状況を調べた結果である。多量飲酒の肝障害罹患に対する相対危険（リスク比）を求めなさい。また、その結果から、飲酒と肝障害の関係について言えることを説明しなさい。

	追跡者数(人)	罹患者数(人)	追跡年数(年)
適量飲酒者	2,000	20	4.0
多量飲酒者	1,000	50	5.0

II. 下の図は平成13年(2001年)から令和元年(2019年)までの調査に基づく男女別の平均寿命と健康寿命の推移である。以下の設問に答えなさい。



【出典：厚生労働省「第16回厚生科学審議会健康日本21(第二次)推進専門委員会資料を改変】

設問1 図から読み取れることを箇条書きで4つ以上述べなさい。

設問2 わが国の介護費用を抑えるためには、どのような対策が考えられるか。

III. 下記の語群から2つ選び、説明しなさい。

1. ポリファーマシー
2. コンコーダンス
3. 効果量 (effect size)
4. メタアナリシス
5. アドボカシー
6. ストレングスモデル

IV. 下記の文章を読み、設問に答えなさい。

著作権保護の観点から、問題のこの部分は掲載しません。

【出典：「医療ルネサンス」シリーズ薬 オーバードーズ＜1＞、読売新聞、2024年3月28日朝刊より引用、一部改変】

設問1 なぜ若い世代にオーバードーズが広がるのか。

設問2 オーバードーズに対し、どのような支援が必要か。